

## 私の誤認

千羽 喜代子



二〇〇〇（平成十二）年に、「幼稚園教諭養成のための参考資料としての調査」を、筆者の所属している学科で行った。その目的は、①子ども数の減少による乳幼児の保育・教育施設の定員割れから生起するところの問題、②就労する母親の増加による保育需要の量的増加と多様化がもたらす問題などの社会的要因による乳幼児教育機関の現状の変化から、幼稚園教諭養成の方針及び内容を検討する必要性があるのではないかと考えたからである。

その調査の結果から幾つかの問題点が明らかになったのであるが、その一つに、園規模に関する事柄が挙げられる。すなわち、最近の傾向として私立幼稚園からの求人募集の中に大規模幼稚園がみられるようになったことから、東京都の私立幼稚園の園規模の現状がどのようになっているかを知ることによって、実習園の園規模の状況を判断する手がかりが得られるのではないかと考えたからである。

表1・表2は、東京都私立幼稚園に限ったものであ

るが、二〇〇一年と二〇〇二年の『全国学校総覧私立篇』を資料とした。各園の内情を調べていないので、表示された数の上での読み取りであることをお許しいただきたい。

表1は、東京都私立幼稚園の開園の状況である。二〇〇一年から二〇〇二年の一年の間に一・二五%の園が減少しており、それは、十六区内、都下三市に及んでいる。在園児二十人以下となると余儀なく閉園せざるを得ない園が多いが、それでも存続させている園もある。大部分の園は現状を維持するのに精一杯の努力を払っていることを知る。

次いで表2は園規模を二十三区と都下二十八市別に表示したものである。園規模は園児数五〇人区分とした。最小二人から最大六三八人である。

これをさらに園児数三〇〇人未満の区(市)とそれ以上の園児数の在園している区(市)別にした。筆者の常識では、幼稚園の定員あるいは全園児数は、多くても二〇〇人未満ではないかと考えていたが、多少譲

歩して三〇〇人未満とした。

一つの園を運営していくとき、園長は子どもの掌握とその保護者の掌握の両方ができる範囲で園規模を考

表1 東京都私立幼稚園の開園状況

園数		年次	2001年	2002年	備考
東京都 23区	休園*		28	27	7園 (1.2%)減
	開園		575	569	
	小計		603	596	
東京都 28市	休園**		5	5	4園 (1.3%)減
	開園		305	301	
	小計		310	306	
計			913園	902園	

資料は『全国学校総覧 私立篇』(原書房)による

※ 港区、文京区、台東区、渋谷区、足立区、江戸川区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、中野区、豊島区、北区、葛飾区

※※ 八王子市、立川市、町田市

えると、せいぜい二〇〇人程度ではないかという声を耳にしていた。歴史的にみると、幼稚園保育及設備規定（明治三十二年、一八九九年）では、その根拠は定かでないが、「幼稚園の幼児数は百人以内とす、特別の事情あるときは百五十人まで増加することを得」とあり、幼稚園令（大正十五年、一九二六年）では、「幼稚園の幼児数は百二十人以下とす、但し特別の事情あるときは約二百人までに増すことを得」とある。

なお、先に、「その根拠は定かでないが」と記したが、国吉栄氏は、関信三が『幼稚園記』に幼稚園の規模にふれていることを指摘している。すなわち、「五十乃至百員ノ幼稚ヲ一園中に集容スヘキコトヲ陳説セリ（後略）」と（『幼児の教育』一〇〇巻六号 二四頁）。

戦後の幼稚園設置基準においては園規模は示されていない。イギリスのインファント・スクールでも、その規模は一五〇人程度であると書物で読んだことを記憶している。

ところが筆者の常識は全く打ち砕かれてしまった。表2から理解できるように、東京都八八〇開園私立幼稚園の一・二園（一・二・七%）が三〇〇人以上の園児数をもった大規模園で、その内訳は二十三区では十二

450～	500～	550～	600～638人	計	内 訳 300人以上
4	2	1	1	476園	69園(14.5%)
				99園	0園
4	2	1	1	575園	69園(12.0%)
1	1			272園	43園(15.8%)
				33園	0園
1	1			305園	43園(14.1%)
5	3	1	1	880園	112園(12.7%)

%, 都下(市)では十四%である。

なお、園児数二五〇人以上の場合は、十七%、二九%となり、都下(市)の方が大規模園が多い。

因みに園児数五〇人以上二五〇人未満の園は、二三区では七六%、都下二八市では六七%である。

また、五〇人未満の園は区内七%、都下(市)では四%と、区内の比率が都下(市)のそれに比べると高い。

幼稚園の大規模化は通園バスの使用によると考えられる。そこでの保育に一人一人の活動が大切にされる生活の保障は難しく、そのことは幼稚園の学校化につながる。

そもそも幼児にとって幼稚園とはいかなるところであるか、を再考すると共に、バスを使用する設置者のみならず保護者の側にも、利便さによって幼児の生活の本質を見失うことのないよう願うものである。

(大妻女子大学)

表2 東京都私立幼稚園の園規模 (2001年)

地区別園数		園児数								
		2~49	50~	100~	150~	200~	250~	300~	350~	400~
東京都 23区	14区	24	119	103	68	65	28	33	15	13
	9区*	17	35	27	9	9	2			
	小計	41	154	130	77	74	30	33	15	13
都下 28市	23市	11	32	52	47	48	39	26	9	6
	5市**	1	5	7	9	4	7			
	小計	12	37	59	56	52	46	26	9	6
計		53	191	189	133	126	76	59	24	19

資料は『全国学校総覧 私立篇』(原書房)による

※ 千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、渋谷区、荒川区、墨田区、豊島区、

※※ 昭島市、小金井市、田無市、福生市、あきる野市